

平成24年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校

学校番号 27

I 自己評価

<p>1 学校教育目標</p>	<p>誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上で、すぐれた知識と技術を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。 このことを実現するために本年度は以下の重点目標を設定した。 (1) 生徒の興味関心を喚起して確かな力を身に付けさせる教育の推進 (2) 生徒に軸足を置いた豊かな人間性を育てる教育の推進 (3) 生徒一人一人が帰属意識をもち生涯を見通した進路意識を高揚させる教育の推進</p>	
<p>2 評価する領域・分野</p>	<p>◇生徒指導（教育相談）</p>	
<p>3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等</p>	<p>《アンケート結果より》 ・マナーや社会規範指導について、「あてはまる」と回答した保護者は78%となり昨年度より18%減少した。生徒は95%で増減はなかった。 ・子どもにあった生徒指導について、「あてはまる」の回答は保護者で94%、生徒では94%あった。 《地区別懇談会より》 ・昨年に引き続き自転車マナー向上や盗難防止に関する意見や要望が多く寄せられた。また社会人として通用する力を身につけさせてほしいという要望が多く寄せられた。アンケート結果や懇談会の様子から保護者は学校にマナーや社会規範について重点的に指導することを希望していることがわかった。</p>	
<p>4 今年度の具体的かつ明確な重点目標</p>	<p>◇授業規律の徹底とマナー意識の向上を図る。 ◇正しい交通ルールやマナー、社会規範を身につける指導を行う。 ◇自己管理意識を向上させ自己管理能力を養う。 ◇生徒指導における全職員の共通理解を図る。</p>	
<p>5 重点目標を達成するための校内における組織体制</p>	<p>・全職員による組織的な指導を展開する。 ・生徒指導に関する情報を発信しふれぬ生徒指導の一助とする。 ・いじめにかんする研修を充実し、早期発見と未然防止に努める。</p>	
<p>6 目標の達成に必要な具体的な取組</p>	<p>7 達成度の判断・判定基準あるいは指標</p>	
<p>(1)全職員による「登校指導、交通安全指導、身だしなみ指導」を行い規範意識の向上を図り、あいさつを励行する。 (2)主任による登校指導を率先して行い学期初めの適応指導と8時20分入室完了の徹底を行う。 (3)年7回身だしなみ指導を実施し正しい姿で学校生活を送る基礎を築く。 (4)累積指導を行い、日常的な生活習慣の確立と授業規律の向上を図る。 (5)迷惑調査や生活実態調査、交通安全実態調査などを行い在校生の実態を把握する。 (6)いじめに関する調査と研修を行いいじめの実態把握と早期対応を図る。 (7)保護者との連携（学校メールなど）を図る。</p>	<p>(1)欠席や遅刻が昨年度より減少できたか。 登校時の挨拶がしっかりできているか。 左側通行、並進禁止などのルールが守れているか。 (2)8時20分入室完了が守られているか。 始業3分前準備完了が守られているか。 (3)身だしなみ再指導生徒が減少しているか。 平生の身だしなみ規律が徹底できたか。 (4)落ち着いた雰囲気ですべてに臨んでいるか。 累積指導カードが指導の共通理解に貢献できているか。 (5)あらゆる指導で、担任・学科・学年・学校全体が連携して指導に取り組めたか。 各種調査結果と生徒の実態にギャップが生じていないか。 (6)いじめの早期発見と対応ができているか。 (7)学校の取り組みが保護者に伝わっているか。</p>	
<p>8 取組状況・実践内容等</p>	<p>9 評価視点</p>	<p>10 評価</p>
<p>・校門指導、交通安全指導を全職員で分担し自転車安全指導やマナー指導（あいさつ運動）を行った。 ・毎月2回風紀委員による交通安全指導、生徒会によるあいさつ運動を行なった。 ・11月にのびのびプロジェクトとしてMSLによるあいさつ運動を行なった。</p>	<p>①組織的に登校指導、身だしなみ指導を行うことができたか。 ②欠席や遅刻を減少させることができたか。 ③生徒は進んで挨拶できているか。 ④授業規律が徹底できているか（私語、居眠り）。</p>	<p>A B C D A B C D A B C D A B C D</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・学年会毎に全クラスの身だしなみ指導を行い統一した基準で規範意識を身に着けさせた。 ・累積指導を活用し授業規律や規範意識チェックと担任、学科、学年と連携した生徒の指導育成にあたった。 ・本校の行事や啓発活動をメールにより保護者にも配信した。 ・生徒指導ニュースを介して生活規律の啓発や職員の間を通じた共通理解を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤身だしなみを平生から整えられているか。 ⑤学校全体での職員間の連携が取れたか。 ⑥学校の取り組みに対し保護者の理解が得られてたか。 ⑦生徒向け職員向け生徒指導ニュースを介して効果的に啓発できたか。 	<p>A B C D</p> <p>A B C D</p> <p>A B C D</p> <p>A B C D</p>
<p>11 成果 ・ 課題</p>	<p>○学年会中心に身だしなみ指導が定着し、指導基準の統一と公平性を保つことができた。（担任の負担が軽減した、再指導生徒が減少した）</p> <p>○雨天は、ほとんどの生徒が合羽を着用し、「傘さし禁止」がほとんどの生徒に定着することができた。</p> <p>○交通マナーに対し、いつも守っていると回答した生徒が10%増加した。</p> <p>▲アンケート結果から、身だしなみが普段から整える習慣がついている生徒は約71%で昨年度より3%減少した。</p> <p>▲11月までの欠席は昨年度より27%増加した。遅刻は46%増加した。</p> <p>▲累積指導カード（凡事指導）に伴う指導をしないこととしたら、職員の累積カードの活用率が上がった。</p>	<p>総 合 評 価</p> <p>A B C D</p>
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <p>○全職員による登校指導、交通安全指導、身だしなみ指導を継続し職員の共通行動と生徒の基本的な生活習慣の維持を図る。</p> <p>○学期初めの主任による登校指導を継続し学校生活への適応化を図る。</p> <p>○事指導を徹底する。（軽微な問題行動も見逃さない。授業規律を確保する。職員の連携を高める。）</p> <p>○交通安全教室を積極的に実施し交通安全とマナーの一層の向上を図る。</p> <p>○MSリーダーズ活動を活性化し、校外での規範意識や交通安全意識の向上を図る。</p> <p>○のびのびプロジェクトなどの機会を利用し、あいさつの励行や仲間意識の向上を図る。</p>		

II 学校関係者評価

実施年月日：平成25年1月31日

【意見・要望・評価等】

- ・生徒の2極分化がある。何でもやる、やらない。大人に接する態度、通常への対応などで人を見たらあいさつをする、日常の会話などでも目上の人なのかどうかなど、良くできている生徒もいる。
- ・社会では薬物や性犯罪など厳しい罰則があり、今までの全ての努力がだめになる。成績が良くても全てだめになるので、知っておく必要がある。